

製品名: 伸長因子 1A2 結合タンパク質ウサギポリクローナル抗体

カタログ番号: APRab00448

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% アジ化ナトリウムを含む PBS 液 (pH 7.3)。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100
分子量	Calculated MW: 138 kDa; Observed MW: 115 kDa

抗原情報

遺伝子名	IGFN1
別名	IGFN1 antibody; immunoglobulin-like and fibronectin type III domain containing 1 antibody; EEF1A2BP1 antibody
遺伝子 ID	91156
SwissProt ID	Q86VF2
免疫原	-

背景

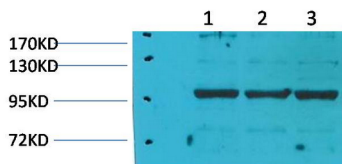
細胞膜接着分子を介した同種親和性細胞接着、網膜層形成、シナプス形成に関与すると予測される。Z板および核に局在すると予測さ

れる。シナプスにおいて活性を示すと予測される。

研究分野

エピジェネティクスと核シグナル伝達

画像データ



eEF1A2 抗体を使用した、ブタ骨格筋、ラット骨格筋、ラット骨格筋溶解物中の伸長因子 1A2 結合タンパク質のウエスタン プロット分析。